



小平六中だより

令和6年度 第5号

発行 令和6年9月12日

＊生徒ならびに保護者の皆様へ＊

「これからの時代に必要となる力」

校長 大島 義明

最近の技術革新はすさまじく、私達の年代が経験してきた LP から CD、ガラケーからスマホへとといった変化の何倍ものスピードで日々変化が求められています。必要とされる力は単純な知識ではなく、ルーティン化した技能でもありません。問題を発見する力であり、柔軟に解決に向けて試行錯誤しながら進む力と言えるでしょう。教育現場における授業改善に向けたタブレット導入後の学習支援ツールも、毎年のように変わってきました。教員は使えるようになるために新たに何度も研修会を開きますが、生徒達は、何事もなかったようにどんどん使えるようになります。子供達のこの力こそがこれからの学びに求められる力であると考えさせられます。教員には生徒の自発性や主体性を尊重し、ファシリテーターとして援助し見守っていく力が求められます。ただ、その流れで授業改善が進む中、私達があえて配慮していかなければならないことが「知識・技能」の定着だとも感じています。今年度、それを意図して始めた教材が『スタディサプリ』です。この夏（7月中の学習状況）の使用状況をお知らせします。ご家庭で話題にさせていただき、お子様のやる気へとつなげていただければ有り難いです（組は省略）。

【確認テスト完了数の多いクラス】 1年〇組（2334 講義） 2年□組（2326 講義）

【動画視聴が多いクラス】 3年◇組（75 時間） 3年▽組（69 時間）

【集中力を高める】 始業式では「集中力」について話をいたしました。（一部抜粋）

～略～ 「小さな一歩」が未来を拓き、「今に集中する」ことで目標に近づくのです。

二学期は一年の中で最も長く、季節も良く、勉強も部活動も取り組みやすい学期です。皆さんには大きく飛躍する二学期にしてもらいたいです。ではどうしたらよいのでしょうか？私が飛躍のために大切だと感じることは「集中力を高める」です。皆さんも感じたことがあるかと思いますが、やらされてやる2時間よりも、やろうとして集中した30分の方が効果があった経験があるかと思います。勉強でもスポーツでも同じです。集中して取り組むことで、あなたの能力は引き出されるのです。

それでは、集中力を高めるために必要なことは何でしょう？それは心を整えることだと私は思います。心を整えるために必要なことはいくつかありますが、本日は2つお伝えします。1つ目は「固定数で考えるな、変数で勝負しろ」です。どういうことでしょうか？皆さんは $y=ax$ を習ったことありますね。固定数とは係数 a のことで変わらないものです。 x が変数となります。もし、あなたの取組を x として結果が y とした時に、変わらない固定数 a のことばかり考えている人はいませんか？例えば受験で〇〇高校受かるかな、受からないかなと何時間も悩む人。悩んでも変わらないのです。その高校の合格基準に達しないと合格しないからです。悩む時間を、一歩踏み出し努力する時間にしましょう。また、例えば部活動で〇〇中学校に勝てるかな、勝てないかなと悩んでいる人、悩んでも変わりません。自分の力を全て出し切るだけです。では、固定数ではなく自分の取組で勝負するための心構えはなんなのでしょうか？それは「人と比べない。自分に集中する。そしてどんな自分も受け入れる。」です。どんな結果でも受け入れる覚悟で、自分に集中して取り組んでいくのです。心を整えるための2つ目は「1度止まる」です。なんとなく過ごすのではなく、一度止まって自分と向き合うことです。皆さんの中には、学校生活で、なんとなくとか、周りに流されてとかで、思ってもみなかったことになってしまった人がいるのではないのでしょうか。ノリで物事を進めるのではなく、目の前のこと1つ1つに集中し、やり切ることをお勧めします。それは登校してきた時から始まっています。下駄箱で止まり、靴を揃えて入れることから心を整えることは始まります。当たり前のことを当たり前にすること。「何気ない動作」に人の心は鍛えられ、整えられていきます。それが集中力につながると感じています。大きく成長する二学期にしましょう。

保護の皆様、地域の皆様、二学期も学校教育活動へのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

「前期教育活動に関する調査結果について」

教務主任 山下 拓也

7月に保護者の皆様にお願ひした、令和6年度前期教育活動に関する調査の結果がまとまりました（回答率 33.7%）。ご協力いただき、誠にありがとうございました。また、自由記述でも様々なご意見を頂戴しました。重ねてお礼申し上げます。

「よく／だいたいできている」という回答を多くいただきました。毎年課題となっている家庭学習の習慣化も少しずつ「できている」割合が増えてきました。今年度からスタディサプリも導入したので、家庭学習に生かしていただきたいです。また、学校生活の様子について「わからない」という回答も見受けられましたので、2学期の道徳地区公開講座や学校公開でご来校いただく機会に授業や校内の様子をご覧いただければ幸いです。学校からの情報発信についても見直しを検討して参ります。

引き続き、本校の教育活動へのご理解とご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

	よくできている	だいたいできている	あまりできていない	できていない	わからない
Q1.学校は、日々の授業の充実に努めている。	30.8%	55.5%	2.8%	0.9%	10.0%
Q2.学校は、年間を通して授業時数の確保に努めている。	41.5%	48.6%	1.4%	0.0%	8.5%
Q3.学校は、HPや学校メール・お便り等で情報発信を積極的に行っている。	45.3%	45.8%	6.1%	1.4%	1.4%
Q4.家庭では、家庭学習が習慣化してきている。	15.6%	40.6%	29.7%	13.7%	0.4%
Q5.家庭では、規則正しい生活が身に付いてきている。	16.0%	58.1%	18.4%	7.5%	0.0%
Q6.学校は、生徒同士協力して、よりよく生活しようとする働きかけを行っている。	24.5%	60.5%	0.9%	0.9%	13.2%
Q7.学校は、生徒の自己実現達成のため、3年間を通して進路指導を行っている。	17.5%	51.9%	9.9%	0.9%	19.8%
Q8.学校は、生徒理解に努め、生徒や保護者が相談しやすい雰囲気づくりを大切に、課題に対応している。	23.6%	57.1%	7.1%	1.4%	10.8%
Q9.学校は、生徒の授業中の姿勢や立ち振舞いなどの授業規律をしっかりと指導している。	24.5%	50.9%	3.3%	0.0%	21.3%
Q10.学校は、校舎・校庭などの施設の安全面について十分配慮をしている。	18.4%	55.7%	5.7%	0.9%	19.3%
Q11.学校は、避難訓練や防災教育を通して、緊急時の意識を高め、対応に備えようとしている。	32.1%	52.8%	1.4%	0.0%	13.7%
Q12.学校は、校舎は古いが日々の環境整備に努め、清潔感がある。	23.1%	59.9%	9.0%	1.9%	6.1%
Q13.学校は、コミュニティ・スクールとして、生徒を育てていくために学校と保護者・地域と連携している。	26.4%	50.5%	3.8%	0.0%	19.3%

生徒の活躍

〈吹奏楽部〉 第64回東京都中学校吹奏楽コンクール 銀賞

吹奏楽部リーダーとして表彰

〈箏曲部〉 令和6年度「TBS こども音楽コンクール」江戸川地区大会中学校合奏第1部門 優秀賞

〈水泳部〉 第64回全国中学校水泳競技大会 4×100mメドレーリレー 18位

2024年度第47回全国 JOC ジュニアオリンピックカップ夏季水泳競技大会

男子4×100mフリーリレー 第5位

〈サッカー部〉 令和6年度中体連小平市選抜選出

小平市サマーカップ第3位 優秀選手

〈テニス部〉 夏季学年別大会 男子1年準優勝

〈陸上部〉 第77回東京都中学校支部対抗陸上選手権大会出場 100m、走幅跳

〈ポニーベースボール〉 ポニーワールドシリーズ第3位

〈柔道〉第12回多摩地区中学校新人体重別選手権大会 66Kg 級第3位

今月の主な予定

1 3 (金) 1 年生校外学習
1 6 (月) 敬老の日 (祝日)
1 7 (火) 月曜授業実施
1 8 (水) 生徒会役員選挙
1 9 (木) 漢字検定申し込み
2 3 (月) 秋分の日振替休業日
2 5 (水) 中間考査
2 6 (木) 中間考査 セーフティ教室
2 7 (金) ⑤⑥カット
第 2 回英語検定

来月前半の主な予定

3 (木) 合唱練習開始
4 (金) 3 年生復習確認テスト
7 (月) 全校朝礼
～ 9 (水) 学校公開
1 2 (土) 道徳地区公開講座
1 4 (月) スポーツの日 (祝日)